

令和5年6月8日  
水源地域未来会議

# 木曽三川流域自治体連携会議における 名古屋市上下水道局の果たす役割



名古屋市上下水道局

# 水源地との上下流交流

木曽川さんありがとう



サマーとりっぷin木祖村2022



水木沢天然林でのチップまき



野菜収穫体験

# 背景（木曽三川流域）

これまで、名古屋市では、上流域（水源地）自治体と個々で上下流交流を実施してきた。

## ● 上流域の課題

過疎化  
農林業の担い手不足  
水源林の荒廃

## ● 下流域の課題

渇水、洪水  
水質汚濁  
気候変動

一つの自治体・地域で課題解決を図ることは難しい

「交流を一步進め、連携・協働へと発展させるためには何が必要か」  
「流域全体が成長するためには何が必要か」

### 名古屋市に求められる3つの機能

- 活動拠点として、上流域の特産品の販売拠点にできる機能
- 情報受発信機能として、流域のさまざまな情報を収集し、必要な自治体や団体に発信できる機能
- 総合調整機能として、活動の共同実施のつなぎ役としての役割や、関係者への連絡体制のハブ機能

## 上下流交流から流域連携へ



# 木曽三川流域自治体連携会議の設立

- 平成22年10月に名古屋市で開催されたCOP10を機に、木曽三川流域自治体が人の和をもって連携・協働し、水の環を健全に守っていくことを「流域自治体宣言」として発信
- 翌平成23年、「水でつながる命」をテーマに、木曽三川流域の28自治体で「木曽三川流域自治体連携会議」を設立



現在、4県下45自治体で構成

# 3つの取組方針

## 【連携会議の目的】

木曾三川流域の自治体が人の和をもって連携し、水環境を保全していくこと

**流域自治体相互の  
連携強化**

流域の自治体が一体となって情報を共有し、水環境保全の方策について意見交換を行います。

**持続可能な  
地域経済振興**

上中流域を中心とした地域経済の振興の支援に取り組みます。

**水環境保全に対する  
住民参加の促進**

流域住民のみなさまの水環境保全への理解を深めます。

# 木曽三川流域自治体サミット

- 木曽三川流域の市町村長等が一堂に会し、意見交換等を行う会議
- 平成23年度より、毎年開催地を変えて開催
- 令和4年度は白川町で「流域治水と命を守る連携」をテーマに開催



# 木曽三川マルシェ

- 平成18年度より、名古屋市の浄水場や配水場の開放に合わせて、各地域のPRや地元の特産品などを販売するブース、木工体験ができるブースを出店する「木曽三川マルシェ」を水道週間行事「なごや水フェスタ」において開催
- 令和4年度は、名古屋市以外の会場である飛島村でも木曽三川マルシェを開催



令和4年度 なごや水フェスタ（名古屋市 鍋屋上野浄水場）

**今年は6月4日に「なごや水フェスタ」を開催しました**



## 商談会、ビジネス・サミット

- 「商談会」は、上中流域への経済振興に向けた支援策として、上中流域の生産者・企業と下流域の仕入れ企業との商談の場として開催  
(主催) 大垣共立銀行、岐阜県、名古屋市上下水道局
- 「ビジネス・サミット」は、東海北陸地方の生産者・企業と仕入れ企業との商談の場のほか、生産者・企業の商品展示の場として開催  
(主催) 大垣共立銀行・北陸銀行  
(共催) 岐阜県、名古屋市上下水道局



令和元年度 商談会  
(名古屋国際会議場)



令和4年度 商談会  
(OKBハーモニープラザ)



# 木曽三川流域フォトコンテスト

- 木曽三川流域内での写真を対象としたフォトコンテストを実施。
- 平成30年度より、年1回開催。例年多くの応募。



平成30年度最優秀賞  
(大桑村 阿寺溪谷)



令和4年度最優秀賞  
(下呂市 木曽川)



令和2年度最優秀賞  
(南木曽町 柿其溪谷 木曽川支流)



令和元年度最優秀賞  
(犬山市 木曽川)



令和3年度最優秀賞  
大桑村 阿寺溪谷

# 木曽三川流域連携シンポジウム

- 平成22年度より、木曽三川流域の市町村長等が自治体連携の方策について意見交換等を行うシンポジウムを開催
- 平成28年度からは、流域住民の交流と意見交換を行う住民参加型のイベントとして開催



令和5年度 木曽三川流域連携シンポジウム

## 木曽三川スポGOMI大会IN下呂市

- 令和4年度は、コロナ対応として代替イベント「木曽三川スポGOMI大会in下呂市」を開催
- 予め定められたエリアで、制限時間内に、チームワークでごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競い合うスポーツ



下呂市での実施の様子



# その他の取り組み

## ●なごやの水源・木曽三川流域連携事業寄附金

「ふるさと寄附金制度」を活用し、苗木・作業用品など購入し、流域自治体へ寄贈することで、流域自治体が行う水環境保全活動のために役立てています。



上流域自治体に寄贈した作業用品

## ●御嶽海「木曽川○なごやの水応援大使」

(「○」は大相撲の白星を表現しています。)

就任期間：令和4年6月～令和6年度まで

目的：木曽三川の流域連携  
なごやの水道・下水道の広報促進



# 連携会議の評価等

## ● 第18回日本水大賞「審査部会特別賞」受賞【平成28年】

従来の水源地保全という考えを一步進め、水源地域の経済的振興を流域の自治体が連携して支援する画期的な取り組みであり、水循環基本法が掲げる流域連携の模範例として、高く評価された。





# 木曽三川流域自治体連携会議の新たなテーマ

---

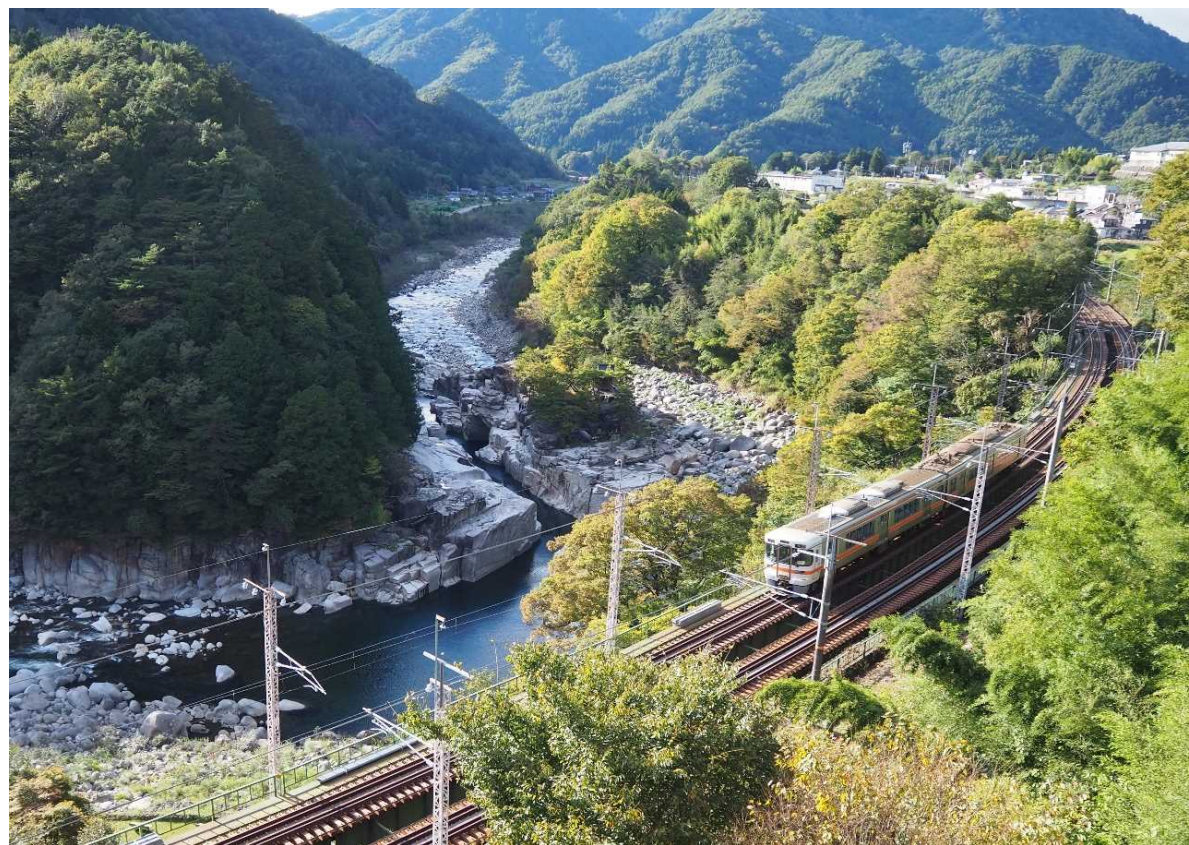
## 水でつなぐ命 ～ 命をつなぐ連携 ～



かわたん

健全な水循環を将来に繋げていくため、流域自治体が連携を強化し水環境保全により主体的に関わっていくとともに、流域治水など防災・減災について情報の共有と発信を積極的に行っていく姿勢を明確にする。

# ご清聴ありがとうございました



令和4年度 木曽三川流域フォトコンテスト 110周年賞  
(上松町 寝覚めの床)